

静岡県が育成したオリジナル柑橘品種

本県の柑橘生産では、‘青島温州’などの貯蔵ミカンを主とした栽培体系が構築されています。

貯蔵ミカン産地としての強みを強化するため、県オリジナルの柑橘品種を開発しました。

<貯蔵に向けたミカン「S1200」>



- ・重イオンビームを用いて育成し、2021年に品種登録出願しました。
- ・‘青島温州’に比べて着色が遅く、浮皮しにくく、クエン酸が高いためより長期間の貯蔵が可能です。
- ・‘青島温州’より1ヶ月程収穫期が遅いため作業労力の分散が可能です。

<丸くて美味しい極早生ミカン「静丸早生」>



- ・‘宮本早生’の珠心胚実生から育成し、2012年に品種登録されました。
- ・既存品種に比べて糖度が高く、丸い形が特徴的です。
- ・樹勢が比較的強くマルチ栽培での高品質化や早期からの収量確保が可能です。

<濃厚な甘みの中晩柑「静姫」>



- ・県育成系統S1128(清見×クレメンティン)とS1144(大谷伊予柑×マーコット)を交配して育成し、2016年に品種登録されました。
- ・糖度が高く、果皮に独特のさわやかな香りがあります。
- ・しっかりとした食感を楽しむことができます。